

第四十三回 海士町立春式

平成二十六年二月一日（土）
隠岐開発総合センター大ホールにおいて第四十三回立春式が行われました。

当日は保護者、来賓、地域の方々、教職員など大勢の方々が出席した中で、生徒は堂々とした態度で式に臨むことができました。特に「誓いの言葉」「少年の主張」「感謝の言葉」の代表者六名は、緊張の中、自分の考えや決意を発表しました。（少年の主張では、体調不良で一名欠席）

式終了後行われた陶板づくりでは、手形と共に自分の思いや願いを刻み、味のある作品ができあがりしました。作品が展示される日を楽しみにしています。

後日、立春式の代表者以外の生徒も校内において自分の夢や決意を発表しました。これからその夢や決意に向かって努力することを期待するとともに、少しでも支えとなればと考えています。【岡野】



少年の主張 代表者4名



陶板づくり



少年の主張

「未来へ向かって」

沼田 紗也加

私には、小さな頃から夢がたくさんありました。お菓子を作ったり食べたりすることが好きだから、パティシエ。声を変えたりしておもしろいと興味を持ったから声優。有名人のサポートをしてみたいと思ったから有名人のマネージャー。他にもまだまだ、就きたいと思った職業がたくさんあります。最近になって、私の本当になりたい夢を一つだけあげてみるとしたら何だろうと考えました。すると、一番に思い浮かぶ職業が、学校の先生です。そう思うようになったきっかけの一つが学校での出来事でした。私は女子テニス部でキャプテンをしています。積極的にみんなをまとめるといふイメージがあります。が、まだ自分のイメージ通りのキャプテンになれていません。私は周りの目を気にしてしまうので、「これを言った

ら周りはどう思うだろうか。」と、思ってしまった、なかなか自分の言いたいことをはっきり伝えることができません。そんな自分が悔しくて、部活中にもマイナスな気分になってしまいます。また、私は感情が表情にでてしまい、みんなをまとめるのではなく、逆に空気を乱してしまうことがあります。何もできない自分に一人悩んでいる時、その表情をすぐに察した先生が、「どうしました？」と悩みを聞いてくれました。そして、先生は、「良いことを言おうとしなくていいだわ。みんなに自分の言葉で伝えればいい。」と、言ってくれました。私は、部活の終わりの反省の時に自分の思いをみんなに伝えました。新人戦が近かったので、「みんなが新人戦で勝ちたい。」という言葉を自分なりの言葉で言うことができました。一人で悩んでいたなら、きっと伝えることができなかつたと思います。だから、悩みを聞いてくださった先生には、とても感謝しています。そして、その思いは私が思えば、将来につながるっていいきました。部活で悩んでいる時に話を聞いてくださった担任の先生のように、人の話を聞いて一緒に

に考えたり、アドバイスできるような先生になりたいと思っています。これから先、色々な経験をすれば、なりたいた職業は変わっていくかもしれませんが、しかし私には、就きたい職業がどんどん変わって、これだけは必ずと思っていることがあります。それは、海士町で仕事をすることです。海士町には、私のたくさんのおい出が詰まっています。私には、明屋海岸や福井小学校、海士中学校など好きな場所がたくさんあります。旅行で都会に行くと、楽しいけれど、海士町に帰ると、ほっとして落ち着けます。大学へ進学したり、働いたりしても、いつか必ず、戻ってきて、今以上の思い出をつくってきたいです。これから、たくさんの方に挑戦して、将来につながるように頑張ります。

立春式 全体写真



ドリームプラン

in 海士中

「将来の夢」

一年 中村 勇士

僕の夢は、レスリング選手として東京オリンピックにでることか、レスリングで作った体で自衛隊に入ることです。その夢をかなえるために僕が今かかっている目標は全国中学選抜で優勝することです。そのため、日々、高校生と一緒に苦しい練習に取り組み、基礎体力を向上させることや、技術を磨くこと、そして心を作ることを頑張っています。これは自衛隊に進むと決めたも役に立つことだと思おうのでまずはレスリングを頑張ろうと思っっています。高校は島前高校に入って、勉強も頑張り、いい成績を残して大学に行くか、自衛隊に行くかは今のところ迷っているのですが、高校在学中に決めたいと思っています。僕がなぜこの夢をもつようになったかと言うと、もともと三歳から始めたレスリングを捨てることはもったいないと思うし、もっと頑張れば、昨年決まった東京オリ

ンピックに出ることができるとかもしれないから、夢にしたいし、ここまでやってきたから自分の限界までやり通して終わりにしたいと思っっているからです。もう一つの自衛隊に入りたいたいというのは、レスリングで作った体を自衛隊にも生かせるし、東北震災の時の自衛隊の人がかっこよく見えて、人を助ける人になりたいと思っただけからです。最後に自分の人生プランを立ててみました。まず、中学校の時に、全中優勝して、高校生の時に成績を残し、大学に推薦で行く。そして、レスリングを続け、大学生の時にオリンピック出場。その後、レスリング選手指導者になり、今まではレスリングを通して色々なところにいる友達に恩返しをし、また、自分を育ててくれた指導者の方のように、小さい子の指導をしていきたいです。そして、指導者にも体力的に限界があると思うので、できれば四十歳を過ぎてからは、海士に戻って仕事を探し、親孝行がしたいです。仕事はなるべく、力を使う仕事で社会の役に立てばいい

と思っっています。これからはたくさん乗り越える壁があると思うけど、全力でぶつかっていきたいです。二月十三日(木)に発表会がありました。

〇一年 副担任 瀧川 智子

どのドリームプランも自分の将来をしっかりと見据え、希望に満ちていました。今回考えた自分の将来の夢や、そのために今できることを忘れてほかに毎日過ごしていつか教員も全力でサポートしていきたいと思っっています。



発表場面

一日入学

去る二月十三日(木)に、一日入学を行いました。来年度入学予定の児童は、十七名(福井小九名海士小八名)です。保護者を対象に、中学校での学習について、生活について、部活動について等を説明しました。また、今も知っている「LINE」についても知っていただくため、海士町教育委員会の福間指導主事に協力していただき、情報モラル説明会を開催いたしました。公開授業では、一年生が「ドリームプラン in 海士中」を行い、自分の「夢」や「将来就きたい職業」について、保護者や関係者の前で発表しました。また、保護者への学校説明の間、六年生は、昨年同様「国語」と「算数」のテストを行いました。このテスト結果や六年担任との話し合いをもとに、中学校での指導に役立てたいと思っております。

この後、生徒会が中心となり、六年生への学校説明会を行いました。後期生徒会として、この「一日入学」での説明会は、大きなイベントとな

りますが、生徒会事務局は、プレゼンテーションとVTRを行っていただきました。その後、部活動体験を行い、全日程を終了しました。入学式は、四月九日(水)になります。新入生が入学してくるのを心待ちにしております。【東】



部活動体験